

F S X 楽しく遊ぼうシリーズ 25

Aeroflex-Andover Airport

1 2 N

V 1 . 1 0



2 0 1 0 . 1 0

L F A 飛想会

目 次

目次	1
みなさん こんにちは	2
Aeroflex-Andover Airport 制作のきっかけ	4
Aeroflex-Andover Airport 位置	6
Aeroflex-Andover Airport 12N	7
インストール	12
Aeroflex-Andover Airport 制作後記	14
おわりに	17

みなさん こんにちは

FSX Aeroflex-Andover V1.10 をダウンロードしていただき、まことに有難うございます。
これは Microsoft Flight Simulator FSX のシーナリーです。

楽しく遊ぼうシリーズのテーマは、

皆さまといっしょに もっと自由に楽しく遊ぼう です。

ご利用上のご注意

その1

このシーナリーは観賞用ではありません。

皆さまは愛機に搭乗し Aeroflex-Andover Airport を利用して大空を自由にフライトして遊んで下さい。

その2

このシーナリーはFSX専用で、SDKのSP2で制作してあります。

FSX SP2、またはACCELERATIONのご利用が必要になります。

FSX SP1 では、一部シーナリーが正しく表示されません。

その3

このシーナリーは Windows7 64bit DX10 でも利用できます。

その4

このシーナリーは メッシュの解像度範囲 (M) 1~2m でご利用ください。

Mesh Resolution (M) の推奨値は 1m です。

その5

シーナリーについて、設定方法や表現が不自然でおかしな部分もあるかもしれませんが、すべてLFA飛想会の好みで選択し採用しています。

勿論バグもあるかもしれませんが、皆さまからのご意見・ご指摘等にはありがたく頂戴し、更なる改良と発展をさせるつもりです。

しかし、批判・苦情等の受付けは致しません。

「このシーナリー くだらないよ」とお考えの皆さまは、その瞬間 削除 して下さい。

その6

Aeroflex-Andover Airport を使用したことにより、飛行不能、墜落、パイロットのケガなど、そのために発生するいかなる損害に対し、L F A 飛想会は一切の責任を負いません。

自己の責任において安全運行に心がけ、ご利用お楽しみ下さい。

その7

Aeroflex-Andover Airport V1.10 は、飛想会のホームページで公開している V1.00 と、FIX 版をまとめたもので、既に両方をインストールしてご利用されている皆さまは、新たにインストールする必要はありません。

Aeroflex-Andover Airport V1.00

制作のきっかけ

2010年のFSXシーナリー制作から、SDKのSP2を利用することに決めていました。しかしなかなか仕様変更には踏み切れませんでした。

大東島の空港制作では、島の大改造とメッシュの制作、そして国土地理院への公開許認可申請等でその余裕がありませんでした。

次のCorvo空港では、YouTube で見た着陸風景を早く体験したくて、シーナリー制作に没頭してしまいました。

そうこうしているうちに半年が経過、このままでは仕様変更が絶望的かも。これではいけない！

そこで思いついたのが、制作が **なるべく簡単そうな空港か飛行場** を選び、かつ楽しく遊べる場所で、SP2仕様のテストシーナリーを制作することです。飛想会が興味を持ち、既にストックしてある資料を調べると・・・・。

ありました、それも2箇所。

しかし残念ながら日本ではなく、またもや海外。

アメリカの Mountain Air (2NCO) と Aeroflex-Andover (12N) です。

2つの飛行場がある地域の風景はとても素晴らしく、紅葉の季節は特に感動ものです。一部のサイトでは、着陸が難しい飛行場としても紹介されています。

両者を比較すると・・・・。

Mountain Air は山岳地域のゴルフ場に併設されたプライベートな飛行場で、自家用ジェット機を操縦してくるゴルファもいます。

勿論ゴルファだけでなく、離着陸を楽しむパイロットもいます。

この飛行場で一番素晴らしいところは、滑走路とエプロン以外に飛行場施設（建物）が1つも無いことです。

これなら簡単！？

でも、周りを取り囲むゴルフ場クラブハウスや別荘の制作が必要不可欠、これらが無いと雰囲気が出ません。

更にFSXデフォルトメッシュのままでは、残念ながら実際の起伏をイメージできません。つまり、専用の高精度メッシュが必要になるのです。



Mountain Air

Aeroflex-Andover (12N) はパブリックな飛行場です。

ちょっと古い年代の小型単発機がフライトしている、いままで見たことのない楽しい雰囲気がただよう飛行場です。

敷地はほぼ平坦地で、F S Xデフォルトのメッシュでも利用可能です。

そう、超簡単みたいでここしかない。

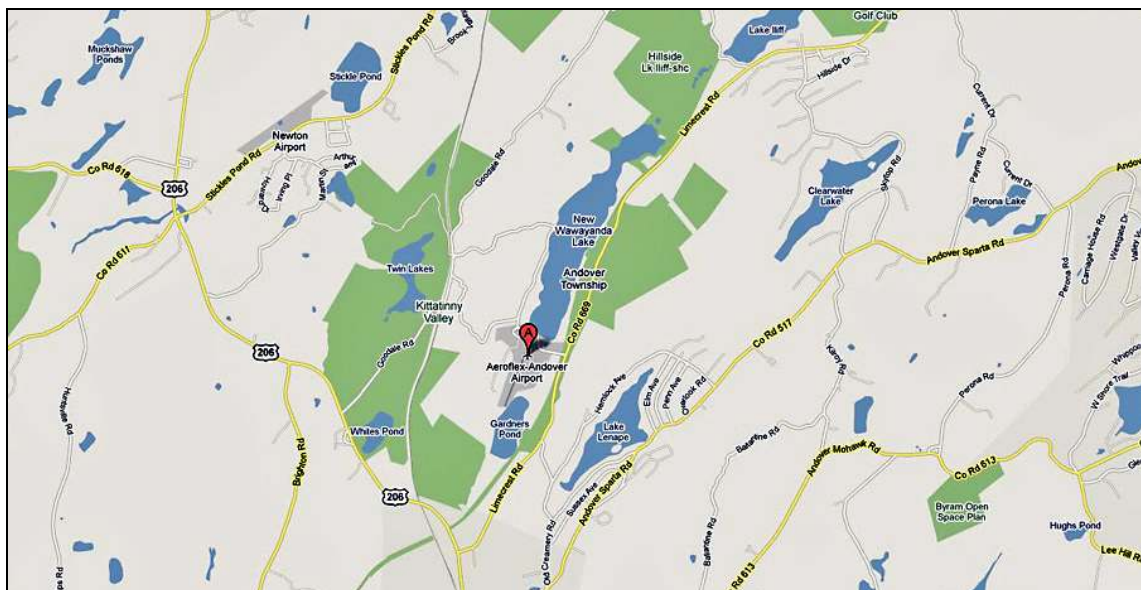
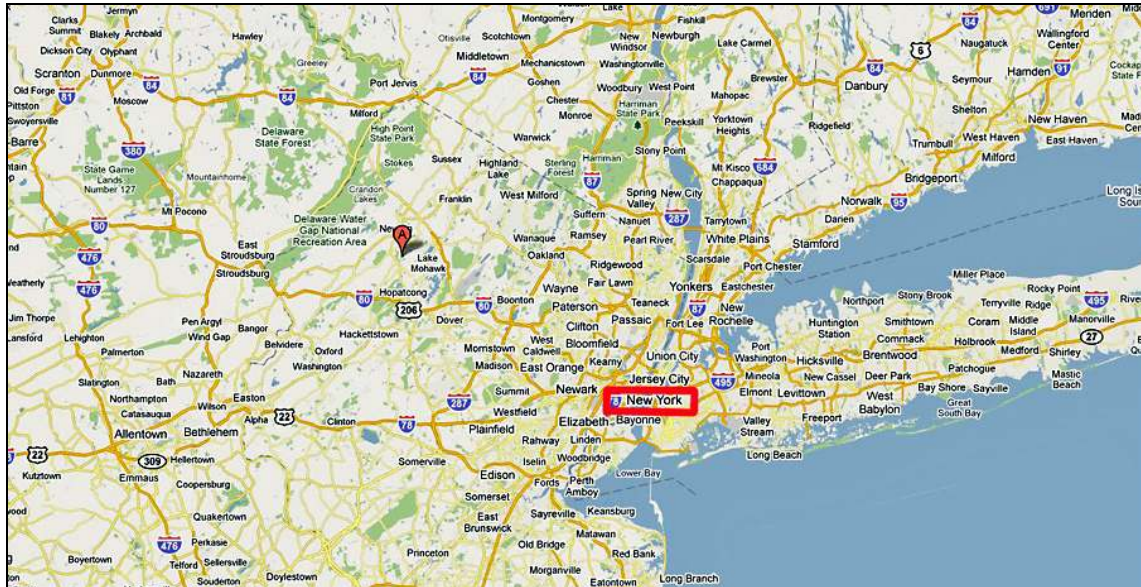


Aeroflex-Andover 2枚の写真はHPから無断でコピーしました

今回の制作のきっかけは、Aeroflex-Andover Airportこそ制作が一番簡単そうで、楽しく遊べそうな飛行場だと考えたからです。

Aeroflex-Andover Airport 位置

エアロフレックス・アンドーバー飛行場はニュージャージー州にあります。
ニューヨークの北西約70kmの場所です。



HPから無断でコピーしました

Aeroflex-Andover Airport 12N



場所	アメリカ ニュージャージー州 アンドーバー
標高	583.0 ft (約 177.7 m)
フィールド標点	N 41° 0.5175 W 74° 44.2815
ランウェイ	03 / 21 アスファルト舗装 1,981 × 50 ft (約 604 × 15 m)
運用時間	APR - NOV 09:00 - 18:00 DEC - MAR 08:00 - 17:00

- 備考
- 滑走路の位置と配置角度は飛想会の判断で制作しています。
 - エプロンの名称、駐機方法、種類と番号等は飛想会の設定です。
 - 西駐機場と東駐機場は、AI 機の駐機ができません。
皆さんが操縦する小型単発プロペラ機(C172 程度)のみご利用可能です。
 - ヘリポートは位置不明のため設定していません。
 - 解説書に登場する AI 飛行機は撮影用で、シーナリーに含まれていません。



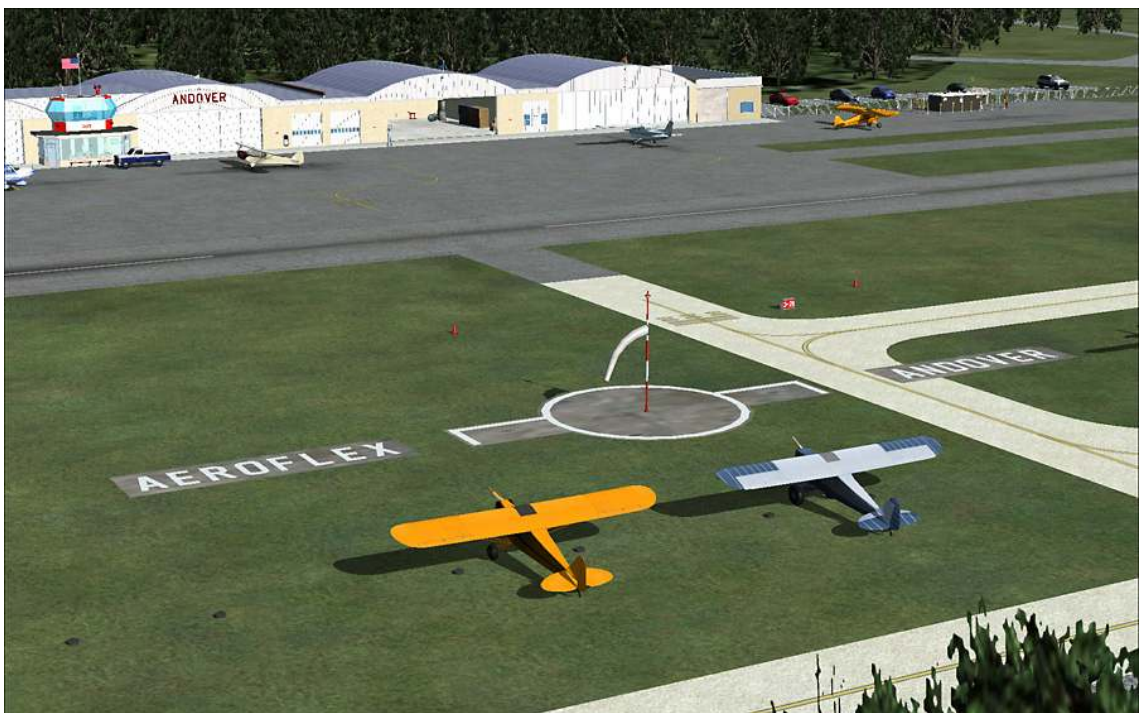
北西方向から見た飛行場です
手前にあるのが大きなニューワワヤンダ湖 奥にあるのが小さなガードナーズ池です



南東方向からみた飛行場です



滑走路と両側に駐機場があります
滑走路左側の東側駐機場との間の芝生にも飛行機が着陸します



駐機場と格納庫です



格納庫です

格納庫前のスポットのみA I機が駐機できる設定にしています



タワーです



東側の駐機場です



レストランなどの施設が無いので、古い建物の前でバーベキューをすることが出来ます

インストール

圧縮ファイルを解凍して開くと以下のものがあります。

FSX_12N_Aeroflex-Andover_V110

Andover-Option

FSX_ Aeroflex-Andover_V100. pdf

FSX_12N_Aeroflex-Andover_V110 インストール

- ① FSX_12N_Aeroflex-Andover_V110 を FSX の Addon Scenery 内にコピーして貼り付けます。
- ② FSX を起動し初期画面から設定を選択します。
- ③ シーナリーライブラリーを選択します。
- ④ エリアの追加を選択します。
- ⑤ Addon Scenery を開き FSX_12N_Aeroflex-Andover_V110 を選択します。
- ⑥ シーナリーエリアのタイトルに FSX_12N_Aeroflex-Andover_V110 が表示されたら OK をクリックします。

これでインストール完了です。

Windows 7 の場合

Windows 7 にインストールする場合、上記の方法ではインストールできない場合があります。飛想会は以下の方法を採用していますが、この方法はマイクロソフト社が FSX で解説している方法と異なりますので、自己責任で実施してください。

- ①～⑥ 上記の方法と同じです。
- ⑦ OK をクリックすると FSX_12N_Aeroflex-Andover_V110 が開き、scenery と texture が表示されます。
- ⑧ マウスの 戻る ボタンを押します。
- ⑨ 表示画面が元に戻り FSX_12N_Aeroflex-Andover_V110 が登録されています。

これでインストール完了です。

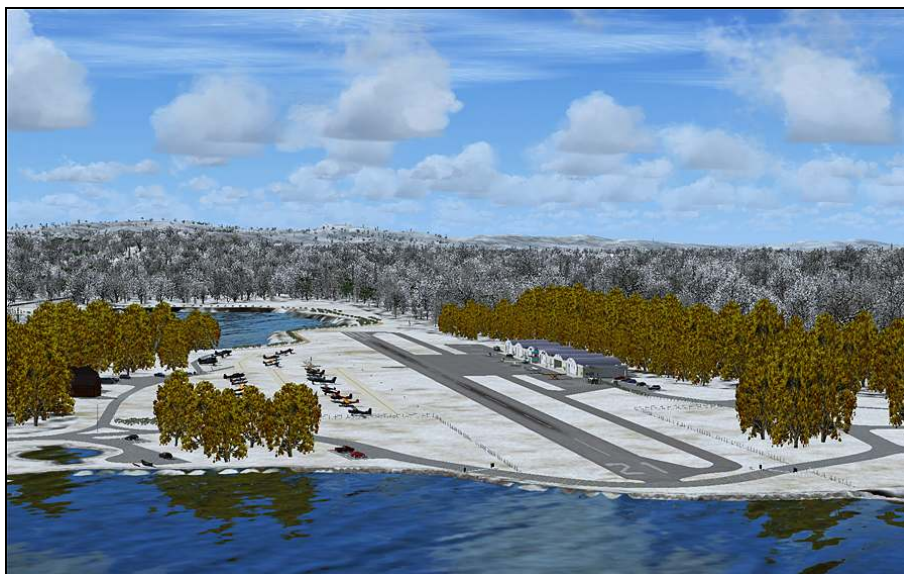
マウスに戻るボタンがない皆さまの環境には対応していませんのでご了承ください。

Windows 7 にインストールできないことに対するご質問等は、直接マイクロソフト社にお問い合わせください。

Andover-Option

このオプションは、飛行場周辺の樹木です。

FSX_12N_Aeroflex-Andover_V110 の Scenery には、既に 秋用樹木 が含まれています。
しかしこのままでは、その他の季節、例えば 春 秋 冬 には違和感ある風景になります。
そこで季節に適したオプションの樹木をご利用になり、素晴らしい風景でお楽しみください。



季節は冬ですが 周りの一部樹木は秋のままです

ご利用方法

秋から冬に変更する場合

- ① FSX_12N_Aeroflex-Andover_V110 の Scenery を開き、デフォルトで既に含まれている FSX_Andover_Tree_Autumn-01 を切り取り、例えばデスクトップ等の別の場所に保存してください。
- ② Andover Option を開き FSX_Andover_Tree_Winter-01 をコピーしてください。
Andover Option の中にも消失した場合のことを考え、FSX_Andover_Tree_Autumn-01 を入れてあります。
- ③ FSX_Andover_Tree_Winter-01 を FSX_12N_Aeroflex-Andover_V110 の Scenery に貼り付けてください。

これで変更が完了です。

その他の季節に変更する場合も、上記の要領で実施してください。

Aeroflex - Andover Airport 制作後記

そ の 1

今回のシーナリーはF S Xのバージョンアップに伴い、SDK SP 2を利用して制作する仕様テストを兼ねたものです。

今までのテクスチャーは D X T 1 BMP ですが、今回からは D X T 5 DDS にグレードアップします。

でもF S XがSP 2にバージョンアップしたのはかなり前、ずいぶん時間がかかりました。実は今までのSDK SP 1 A仕様でも、幸運にもF S X SP 2、そしてD X 1 0でも問題なく利用できていたから、その必要性をあまり感じなかったのです。これは超簡単でシンプルな飛想会制作法だからこそ、偶然にも対応できていたのかもしれないね。

しかし時代はF S X SP 2 (ACCELERATION) が主流です。そこで飛想会もやっと重い腰を上げ、清水の舞台からダイブして採用したのです。

SDK SP 2化への問題

ちょっと大げさな表現ですが、一番問題になったことはどのように制作するかではなく、マイクロソフト社のホームページでSDK SP 2が公開されてないことです。マイクロソフト社が販売するF S X ACCELERATIONのDVDに収録されているSDKも、なんと古いSP 1 Aです。これにはびっくり仰天しました。

困った、どうしようかしら。
でもご安心ください、幸運にも入手できたのです。
しかし、これからSDKのSP 2を必要とされる皆さまは、恐らく入手不可能かもしれません。

SDKのSP 2をダウンロードできないようにするなんて、マイクロソフト社はいったい何を考えているのでしょうか。
それともF S Xを、既に見捨てているのかな。
それならF S 1 1 (仮)を企画立案し、早く開発してもらいたいですね。

そ の 2

You Tube の動画やインターネットで公開されている写真を見ると、Aeroflex-Andover Airport に集まる皆さんはとても楽しそうです。

ちょっと古い自慢の機体を操縦し、無事着陸するとギャラリーからは拍手喝采。

アラスカの大自然の中をフライトするような太くて大きなタイヤをはいた機体の前で記念撮影、お孫さんかな。

おまけに滑走路脇の並行する芝生に着陸する飛行機もかなりいます。



ちょっと古い機体がとてもよく似合い、このような楽しくほのぼのとする飛行場は初めて、だから制作したのです。

その楽しさを飛想会なりに表現し、動画を制作しましたので、ぜひ YouTube でご覧ください。

そ の 3

今までの制作法では、夜間照明は Effects を利用していました。

Effects 利用では、配置座標近くの光源はその位置で光りますが、距離が離れるにしたがって位置がずれ、配置後の移動修正が大変でした。

そこでこれから Texture で夜間照明を表現することにしたのです。

この方法は以前からテストしていたので、S P 2 仕様での制作においてもさほど問題はありません。

むしろ課題として残っていたのは、明るく照らされた地面です。

「くろねこ」さんの G m a x ノートに『イミテーションライトの作成』があります。

そこで解説のように制作してみました。

しかし・・・うまく行きません、というよりも失敗です。

日中は透明になりませんし、夜間はグラデーション制作法が不明なので、均一で違和感ある明るさになってしまいます。

「くろねこ」シスターズのトリコロールキャットさんの解説では、透明だからアルファ値＝0 ではありませんよと注意書きが加えられています。

えっ、ゼロではないの～。

ますます混乱というか、我が能力では解析不可能！

お手上げで～す。

ベータ版シーナーがやっとまとまり、「くろねこ」さんにテスト依頼する際に連絡したら、サンプルと共に制作法を教えてくださいました。

OK OK うまく行きました。

グラデーション化された地面を照らす照明は、自然で味があります。

「くろねこ」さんが芸術的だと自画自賛していましたが、まさにその通り、それもこのような方法で制作するなんて。

神業ですね。

Aeroflex-Andover Airport の運用時間は日中のみですが、ぜひ日没後の飛行場の様子も見てください。

おわりに



Aeroflex-Andover Airport V1.10 いかがでしょうか。

日本と異なり、アメリカには地元の人たちが利用する楽しい飛行場があるのですね。
ところでバーベキューをしているおじさん、何を焼いているのかな？
草履のような分厚いビフテキ、いろいろな野菜、そして・・・。
私の大好物なので、ついつい制作してしまいました。（アメリカ人は食べないでしょうね）

シーナリー制作で「くろねこ」さんのFSX用制作ソフトを利用させていただきました。
シーナリーテストで「くろねこ」さん、FSManiacsさんのご協力と、貴重な助言をいただきました。
この場をお借りし厚く御礼申し上げます。

これからも皆さまと一緒に楽しく遊べるシーナリーを制作し、LFA飛想会のホームページで公開したいと考えています。

2010. 9. 29
LFA 飛想会 TONO